

データ編①

項目	K P I	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	
ヘルスリテラシーに関する意識・行動						
自身の健康状態の把握状況	—	92.5%	92.2%	92.5%	96.6%	
健康に対する意識の向上割合	—	77.1%	74.1%	73.4%	80.3%	
会社の取組みによって行動が変わった割合	—	73.7%	71.1%	69.6%	77.7%	
運動習慣（注1）	—	25.5%	27.6%	27.6%	26.2%	
各種健診・検診受診率						
定期健康診断受診率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
精密検査・再検査受診率	90.0%	90.4%	90.2%	91.3%	92.4%	
ストレスチェック受検率	100.0%	98.8%	98.6%	98.1%	98.9%	
高ストレス者率（注2）	—	3.6%	4.2%	3.6%	3.6%	
乳がん検診受診率	32.5%	33.5%	32.4%	52.3%	60.5%	
子宮頸がん検診受診率	10.3%	4.9%	5.2%	36.6%	36.7%	
特定保健指導実施率（注3）	55.0%	53.5%	60.0%	80.3%	集計中	
医療機関受診勧奨コール（注4）成功率	91.1%	90.7%	94.2%	95.8%	92.4%	
メンタルヘルスの状況						
総合健康リスク（注5）	職員	98	92	93	93	92
	営業職員	98	86	86	84	83
メンタル不調による休職率（注6）		—	0.92%	1.15%	1.43%	1.65%
メンタル不調以外の疾病による休職率		—	1.98%	1.82%	1.81%	1.70%
生活習慣等による健康リスク						
肥満者（注7）占率	男性	48.4%	50.1%	49.3%	50.3%	
	女性	32.5%	33.9%	34.2%	34.1%	
高リスク者占率（血圧・脂質・血糖）（注8）		13.9%	15.1%	14.2%	13.8%	13.6%
喫煙率		27.7%	27.4%	27.2%	25.2%	24.9%
柔軟な働き方の取組み						
平均月間所定外労働時間		—	4 時間	2 時間	2 時間	2 時間
平均年次有給休暇取得率		—	65.0%	64.5%	76.0%	78.8%
平均年次有給休暇取得日数		—	15.1 日	14.8 日	16.4 日	17.0 日
離職者数		—	4,178 名	5,896 名	5,980 名	6,707 名

データ編②

項目		K P I	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
職場の総合的魅力度 (注 9)	職員	—	68.6%	66.8%	66.0%	64.1%
	営業職員	—	51.2%	48.9%	50.1%	49.7%

- (注 1) 「健康サポート・キャッシュバック特約」におけるキャッシュバックランクの判定項目 (BMI・血圧・尿蛋白・脂質・肝機能・糖代謝) に基づき、定期健康診断 (含む人間ドック) の結果をポイント化した判定結果を前年度の判定結果と比較。判定結果が、前年度よりも維持・改善した者の割合
- (注 2) 自覚症状が高い者や自覚症状が一定程度ありストレスの原因や周囲のサポート状況が著しく悪い者
- (注 3) 健康保険組合加入の 40 歳以上の従業員および被扶養者を対象に実施
- (注 4) 重症な生活習慣病につながる懸念がある健診結果不良者 (高血圧疾患、脂質異常症、腎症、糖尿病) に対し、重症化予防を目的に電話による医療機関への受診勧奨
- (注 5) 全国平均を 100 として、対象の組織で休職者が発生する確率を点数化したもの。100 を超えるとリスクが高くなる
- (注 6) 金融・保険業の平均は 1.2% (2023 年「労働安全衛生調査」(厚生労働省))
- (注 7) 40 歳以上の従業員のうち、腹囲が 85cm 以上 (男性)・90cm 以上 (女性) または BMI 25 以上
- (注 8) 40 歳以上の従業員のうち、健保連基準 (血圧・脂質・血糖) でリスクを判定
- (注 9) 従業員意識調査における「働きがい」「職場の環境」「上司の魅力」をふまえた職場の魅力度に対する肯定的回答率